iv 用 言 \mathcal{O} 見分け方

動 詞 の見分け方

② **下** 段活用 段 活

3 **†** ④ ラ行変格活用 行 変格活用

5 6 # 行変格活用 行変格活用

覚えておかないといけないところ

いきにみる

`「蹴る」

「死ぬ」「往ぬ(去ぬ)」

あり」「をり」「はべり」 いまそか

「来」(「持て来」などの す」「おはす」(「愛す」 複合語あり など 漢字一

字

+

ずし

あり)

後ろに「ず」「ない」をつけたとき、上の言葉が・

⑦ア段の 音

⑧ 1 段の音

91段の

音

四段活用

上二段活用

(過 ぐ 書く

過ぎず) 書か ず

下二段活用 (受く 受けず)

後ろに 形容詞の見分け方 「なる」をつけたとき・

2 1 しくなる」 くなる」 0 のとき とき

> ク活用 重 →重

> くなる

多くなる)

シク活用 (美し→美しくなる)

(i る かな ŋ • あざや カコ なり)

形容動詞の見分け方

十川活用

リ 活 用

(漢語が多 (和語が多

(漫漫た

ŋ

皓皓たり)

VIVI



記 (学 校

る

 \mathcal{O}

授業で習

0

出で来」

「詣

で来」

力

合体技

型

得。

寝ぬ

経ふ

「植う 飢 <u>5</u> 据う」

ワ

2

上二段

型

恨

む

7

老ゆ」

悔ゆ」

報ゆ

小 得」 所得」

え う うる う れ

ょ

え

え

ね め め る め れ ね ょ

ね

S Š る Š れ \sim ょ

ゑ う うる う ħ

4 4 む む る ts n 4

11 炒 ゆ る ゆ n 11

れ

 $\overset{\neg}{\#}$ 御 ŧ, んがず」のすり 「 「 「 「 で 重 死 恋 エんず」() 漢 **全** 八副用語詞 十十 す すし サ 変変

+ササ 変変

先

せ す す á す せ ょ

ず で わ 0 サ 変っ て言 1 ます (ザ変っ て言わ な 11 か らね

*